

もぐさの成分

もぐさの有効成分はチネオール、ツヨンといった精油成分と様々なタール成分に分けられます。タール成分のうちメタノール分画中には皮膚脂質過酸化抑制作用(発ガンを抑制したり治癒を早める作用)を認め、プロパノール分画中のカフェタンニンが示す抗酸化作用の有効性などもわかってきました。今回は、タール成分のうち、プロパノール分画中のカフェタンニンについて分析し、もぐさの示す色々な薬理作用と成分の関係について調べました。

ヨモギ及びもぐさの高速液体クロマトグラフィーによる分析

大西基代ら

《実験の方法》

〔使った材料〕 ヨモギ、オオヨモギの葉を乾燥し粉末にしたもの
市販品のもぐさ、コーヒー

〔やり方〕 ヨモギ、オオヨモギ及びもぐさを 70% 2 プロパノールで 3 回抽出後、減圧濃縮して水溶液を作成。さらに、フィルターで濾過して試料とし、高速クロマトグラフィーにかけた。対照のコーヒーも同様の処理を行った。

〔実験結果〕 お灸にもぐさ(ヨモギ類)が用いられる意義を考えるには、DCQA の薬理作用を考慮する必要があるのではないかとと思われる。

ヨモギ、オオヨモギ、もぐさ及びコーヒーにおけるカフェタンニンの含有率(%)

	オオヨモギ	ヨモギ	もぐさ1 (高精製点灸用)	もぐさ2 (低精製温灸用)	ロブスター コーヒー
3-CQA	2.35	1.22	3.75	2.49	7.54
4-CQA	1.85	1.98	4.77	3.47	11.22
5-CQA	20.36	29.22	19.67	19.67	64.34
3,4-DCQA	5.52	6.45	10.41	9.98	6.50
3,5-DCQA	58.54	48.80	39.15	43.30	5.28
4,5-DCQA	11.38	12.33	22.25	21.09	5.12

各 CQA,DCQA は全てカフェタンニンの種類

関西鍼灸短期大学年報 7:24-26(1991)より転載

やけどと灸痕のちがい

火傷と比較すると、灸痕は治癒しやすく、皮膚ガンの報告がありません。もぐさに含まれるカフェタンニン成分が、皮膚の損傷を最小限にし、灸熱刺激を有益なものにしているのではないかと考えられています。



よもぎからもぐさ もぐさでやいと やいとで元気!

関西鍼灸大学 灸道部